

# 放課後子ども教室だよ

## 福田たのしい教室訪問

令和2年9月15日(火)訪問

○開設年度	平成19年	○参加者	対象学年：1～6年生
○活動場所	旧川俣町立福田幼稚園		登録児童数：42名
○実施回数	104回	○登録スタッフ	安全管理員：2名
○実施時間	3時間30分 火～金曜日 (14:00～17:30)	○活動内容	活動指導員：11名 宿題 運動 自由遊び 創作活動 季節の行事

## 屋外でのびのびと遊べる環境づくり＝コロナ対策

福田たのしい教室には、福田小学校の8割を超える児童が在籍しています。活動場所が小学校に隣接しているので、必要に応じて、学校との連携を図ることができます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために、終了時刻を昨年度より30分早めています。限られた時間の中で、子どもたちは放課後の楽しい時間を過ごしています。

訪問当日は下学年の児童11名が参加していました。宿題をするためのテーブルには、使用できない場所に表示をして密になる状況が発生しないように配慮されていました。子どもたちも感染予防のためのきまりを守りながら、落ち着いて宿題に取り組んでいました。

宿題が終わった子どもたちは次々と外に出ていきます。活動指導員の吉田さんも外に出て、子どもたちを幼稚園の園庭や小学校の校庭に連れて行き、子どもたちと一緒に遊びながら活動の様子を見守ります。子どもたちは昆虫をつかまえたり、大勢で遊んだりしながら、実にのびのびと活動していました。

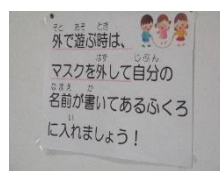
人懐っこく表情も豊かな子どもたちの姿が、自然に親しみ、人との関わりを学ぶことができる貴重な時間となっていることを物語っていました。



### ポイント 少ない人数にすることのメリットは・・・

福田たのしい教室は、週4日の開催ですが、今年度は新型コロナウイルス感染予防策として、火・水曜日は下学年17名(1～3年生)、木・金曜日は上学年25名(4～6年生)としました。

上学年と下学年の開催曜日を分けたことで、3名のスタッフが子どもたち一人一人に十分関わることができるので、子どもたちにストレスはあまり見られず、トラブルも少なくなったそうです。



### コロナ禍における活動のヒント

「例年行っているプログラムを実施することが難しい」「どうしても密になってしまう」「子どもたちに感染症に対する意識を高めてほしい」など、コロナ禍での放課後子ども教室運営には課題がたくさんあります。

福田たのしい教室の活動で参考になる点は、

- ① 上学年と下学年の児童の利用日を週2回ずつに分けたことで、密になる状況が発生しにくくなった。
- ② 子どもたち一人一人のマスクの保管場所を決めることで、マスクを外して外で遊ぶ際に、他の人が触れることができないようにしている。また、消毒液、ハンドペーパーを水道のそばに置くことで、外遊びを終えた子どもたちがすぐに手を洗う習慣が身についてきている。
- ③ 外や屋内の多目的室など広い場所で、友達やスタッフと自由に遊ぶことがコロナ対策でもあり、子どもたちのストレス発散にもつながっている。

コロナ禍では活動が制限されてしまいがちです。しかし、子どもは遊ぶことによって成長します。放課後の時間にたっぷり遊ぶ時間を確保することは、子どもの発達のためにはならないことだと思えます。

